

## 特色ある大学教育支援プログラム

### 「進化するコアカリキュラム」 - 北海道大学の教養教育とそのシステム - フォーラム / パネル展開催報告

平成 18 年 7 月 30 日(日)本学高等教育機能開発総合センター大講堂および講堂前ロビーにおいて、文部科学省が実施する教育改革支援プログラム(特色GP)に採択された「進化するコアカリキュラム」 - 北海道大学の教養教育とそのシステム - が最終年度にあたるため、これまで四年間の活動実績を広く社会に情報提供することを目的として、フォーラムおよびパネル展を開催したものです。

当日は、オープンキャンパスも同時に開催されたこともあり、高校生を中心に保護者や一般市民、大学関係者等 250 名(高校生 170 名、保護者・市民 40 名、大学関係者 40 名)の幅広い参加がありました。

午後 2 時から講堂前ロビーにおいて、本学の教育理念と教育目標、コアカリキュラムの構造及び全学教育のマネジメント体制等をはじめ、フィールド体験学習の実際をパネルを通して紹介するとともに、理科学科(物理学、化学、生物学、地学)の中で取り入れている演示授業の一端を実験機器等を活用して、生きた教育を紹介しました。



パネル展示風景



佐伯副学長の開会挨拶

3 時 30 分からのフォーラムでは、佐伯副学長の挨拶の後、本学の特色である五つの授業を順次紹介しました。各担当者からは、初年次教育の一端を演示実験や映像を活用、時にはユーモアも交え、わかりやすく授業を紹介、また、芸術科目では、札幌交響楽団の首席チェロ奏者石川祐支氏によるバッハの名曲「無伴奏チェロ組曲」第一番の演奏もあり、参加者は最後まで熱心に視聴していました。



真剣なまなざしの参加者



物理学演示授業

プログラムの概要は以下のとおりです。

パネル展示 14:00 ~ 18:00

「進化するコアカリキュラムの取組」

フォーラム 15:30 ~ 17:30

- ・ あいさつ「北海道大学における教養教育」 副学長 佐伯 浩
- ・ 物理学デモ授業「林檎はなぜ落ちる? - 真空落下実験 - 」 理学研究院 教授 小野寺 彰
- ・ 生物学デモ授業「ゼロからわかる生物学」 理学研究院 助教授 梶内 新
- ・ フィールド体験学習紹介 1「楽しいフィールド学習で感性を磨く」 水産科学研究院 教授 猪上 徳雄

- ・ フィールド体験学習紹介2「北大の多様なフィールドにおける体験学習」  
北方生物圏フィールド科学センター 教授 上田 宏
- ・ 芸術科目紹介「PMF，札幌交響楽団との連携授業」 非常勤講師 三浦 洋
- ・ 質疑応答・まとめ 文学研究科 教授 安藤 厚

参加者に対するアンケートの中でも、北大の教育方針や授業の特色が少し理解できた。北大に入りたくなった。大学の雰囲気味わうことができ、とてもいい体験でした。札幌交響楽団によるチェロの演奏に感動した。また、保護者の意見でも、来年は息子も参加させたいし、私のほうが勉強したくなった等々、貴重な意見をたくさんいただきました。また、次年度以降もこのようなプログラムを続けた方がよいかとの質問に対し、参加者全員が続けた方がよいと回答しており、今後、毎年度の実施に向けて体制作りが必要であると痛感している。

最後に、昨年度4年次学生を対象に実施したコアカリキュラムに関するアンケート結果報告書の分析からも言えることですが、本学が目指しているコアカリキュラムが教養教育の中で着実に浸透しており、今後さらなる科目の開発・充実に資することが必要であると考えている。



札幌交響楽団石川氏によるチェロ演奏



実験にチャレンジする高校生